

CSR REPORT 2020

安全・環境・企業市民活動

年次報告書



TOMOE

株式会社 巴商会
TOMOESHOKAI CO.,LTD.



企業市民としての取り組み

私どもは経済・産業の面での企業活動にとどまることなく、持続可能な社会に向けての役割を果たしていくことも大切な取り組みであると考えています。地域貢献活動、各種ボランティア活動への参加をはじめ、世界的な課題であるSDGsへの取り組みも積極的に行っています。

今般の新型コロナウイルス（Covid-19）の感染拡大に際しては、いち早く社内に緊急対策本部を設置し、医療にかかわるガスをはじめ各種産業ガスの安定供給体制を確保するとともに、こうした取り組みをささえる社員一人一人の健康にも留意し、全社を挙げて防疫に努めて参りました。（15ページ参照）感染拡大の完全な終息に向けては、まだまだ時間はかかりそうですが、引き続きしっかりと取り組んで参ります。

こうした企業市民としての取り組みを継続していくためには、社員一人一人が心身共にいきいきと、笑顔で働ける職場であることが大切です。

私どもは、昨年、健康優良企業として健康保険組合より「銀の認定」を取得しました。（14ページ参照）これからは健康企業宣言のもと、社員が健康で安心して働くことのできる職場を提供する企業であり続けたいと考えています。

これらのことはコーポレートサステナビリティを高めていくための取り組みそのものでもあり、重要な経営課題として今後とも積極的に取り組んで参ります。そして、こうした活動は一朝一夕に成し遂げられるものでなく、日々継続して取り組んでいかねばなりません。私ども巴商会は、斯かる理想の実現に向けて、身の丈にあった地道な活動をおろそかにすることなく取り組んで参ります。

引き続き、私ども巴商会にご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 巴商会
代表取締役社長 深尾定男

お客様のためになることをする

「安定供給」「安全確保」に対する取り組み

お客様のもとへ安定的に且つ安全に各種産業ガスをお届けすること、また、それを通して社会の様々な分野の発展に貢献すること、それが私ども巴商会の使命です。

各種産業ガスは様々な役立つ特性を持つ反面、扱いを誤った時の危険性が高いという特性も併せ持っています。そのため私どもでは、各種産業ガスを安定的にお届けするのは当然のこと、お客様が実際に現場でご使用されるまで、法令に基づいて適切な取り扱いを励行し、徹底した安全の確保に努めております。

この「安定供給」「安全確保」への取り組みの継続こそ、私どもがまず始めに果たさなければならない社会貢献であると考えています。

「お客様のためになることをする」取り組み

企業としてお客様のためになることをするを通じ、広く行政サービスの原資を生み出し、且つ社員の生活基盤の安定を確保する。また、それにより事業の継続性が高まり、さらにお客様のためになることができるようになる。

私どもはそのような考え方や行動の規範を「お客様のためになることをする」という社是に込めて、創業当初より忠実に守り実践しています。そして、これからも変わらずに守り実践して参ります。

一企業として行政サービスを通じ社会に貢献し続けること、それもまた私ども巴商会が果たさなければならない重要な責務であると考えています。

SDGs (Sustainable Development Goals) とは

世界では環境汚染や格差問題など、全世界で取り組まなければならない多くの課題が残されています。2015年、それら様々な課題に対して、17のゴールと169のターゲットからなる国際開発目標「SDGs(持続可能な開発目標)」が国連において日本を含む世界193カ国の合意のもと採択されました。SDGsは2030年までに達成すべき目標とされ、わが国でも2016年、政府に「SDGs推進本部」が設置され、国や自治体、企業やNPO、市民、さまざまな人々を巻き込んで「SDGs」目標達成のための活動が始まっています。

17のゴールと169のターゲットの詳細については、JAPAN SDGs Action Platform をご参照ください。
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

 1 貧困をなくそう	 10 人や国の不平等をなくそう
 2 飢餓をゼロに	 11 住み続けられるまちづくりを
 3 すべての人に健康と福祉を	 12 つくる責任 つかう責任
 4 質の高い教育をみんなに	 13 気候変動に具体的な対策を
 5 ジェンダー平等を実現しよう	 14 海の豊かさを守ろう
 6 安全な水とトイレを世界中に	 15 陸の豊かさを守ろう
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 16 平和と公正をすべての人に
 8 働きがいも経済成長も	 17 パートナーシップで目標を達成しよう
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	

持続可能な社会への取り組み

巴商会は、国連が掲げる2030年をターゲットにした持続可能な開発目標「SDGs」への貢献に向けて取り組みを進めています。

企業市民の一員として社会課題の解決に貢献し、産業用高圧ガスを取り扱う当社ならではの視点で事業活動を通じた取り組みを推進していきます。



1 産業ガス事業



▶あらゆる分野にベストマッチな産業ガスを提案し、安全かつ安定的に供給しています。また、ガス供給に関わる設備・機器の設置からメンテナンスに至るまで、法令に基づきお客様をサポートすることで、それぞれの産業の技術革新・社会全体の安定と安全に貢献しています。



▶ガスによる災害を防止するために、全社での「安全衛生保安委員会」を月1回開催し、法律改正、災害防止策、他社事例も含むヒヤリハットおよび事故の原因究明と対策等を全社へ周知しています。
▶社内技術教育・社内資格制度により、ガスを扱う社員の技能向上に取り組んでいます。
▶お客様の使用状況に合わせた「保安講習会」を開いて、安全なガスの取扱いについての啓蒙活動をしています。



▶除害装置の開発・販売を通じて、産業活動により排出されるガスから大気汚染や人体に被害を及ぼす物質をなくし、環境保全と人々の健康に貢献しています。



▶地球温暖化に影響を与えるSF6ガスの回収・処理をしています。



▶EMS活動（電力使用量計測・車両の燃費向上・エコカーの導入・太陽電池等）によるエネルギー使用の削減、環境測定、環境教育に取り組んでいます。



▶何度も繰り返し使える緩衝材の開発など、ゴミを減らす活動をしています。



▶工場からの排気ガス分析や環境負荷の評価を行い、地球環境の保全に貢献しています。

2 新規事業



▶太陽光、風力やバイオマスなどから水素を製造する等、エネルギーの安定供給に関する実証を進めて、再生可能エネルギーの利活用推進に取り組んでいます。



▶在宅医療が必要な方々へ医療用ガスをお届けすることにより、地域社会の福祉に貢献し、また高齢化社会の一助を担っています。



▶高濃度酸素溶解装置により魚の養殖の効率化に取り組み、気候変動、海洋汚染による水産資源の枯渇に対応する水産養殖事業を推進しています。



▶耐汚染性・耐久性に優れた環境負荷低減型多孔質分離膜モジュールによる排水処理事業を推進しています。

3 働きやすい環境づくり



▶女性活躍推進チーム（イイTOMO）を立ち上げ、女性社員の働きやすさを追求し、女性のみならず社員全員が働きやすい会社をめざしています。



▶社員が健康で生き生きと働ける会社を目指して、会社全体で健康経営に取り組んでいます。
▶ワークライフバランスの充実のため、時間外労働を減らす取り組みをしています。
▶社員のセルフケアのために、毎月メンタルヘルス通信を配信しています。また、全社員を対象にストレスチェックを実施し、社員の心の健康維持・向上に努めています。



▶女性の育児休業制度の利用者は、今年度（2019.9.1~2020.8.31）も100%でした。さらに、男性の育児休業も取得を推進しています。
▶育児短時間勤務制度は子供が小学校3年生の3月まで適用される等、社員の子育てを支援しています。



▶全社員、全職種を対象に社員研修を実施しています。入社半年後研修をスタートに3年目まで社会人としての基礎、7年目まで実務、以降はマネジメントやスペシャリスト研修など。また、階層ごとの立場に合った課題をテーマにした研修も行っています。



▶地域との共生や環境保全のため、野外のゴミ拾い活動や交通安全街頭活動などのボランティア活動に、積極的に取り組んでいます。

安全活動



私達は、お客様が安心して高圧ガスをお使い頂けるよう、高圧ガス容器の移動、供給から消費、廃棄に至る各段階において、行動指針の一つ、“自主性”を発揮して、安全で活力に溢れる企業を創造します”を実行しています。

◆『安全』活動の取り組み

■高圧ガスの移動に対する取り組み

巴商会では、お客様に高圧ガスを確実に届けるために、交通事故を未然に防止する活動を積極的に取りいれています。2013年5月より高圧ガスを運搬するトラックを中心にドライブレコーダーの導入を開始し、2018年にほぼ全てのトラック・バンへの設置が完了、2020年6月現在では388台に至っています。このシステムによって、管理者が危険運転に結びつく挙動をリアルタイムに確認・指導でき、ドライバーの体調管理や安全運転意識の向上により、交通事故防止に役立っています。



ドライブレコーダー付きガス配送用トラック

■ガス供給システムにおける取り組み

巴商会では、お客様が高圧ガスを使用目的に合わせて安心して使えるよう、ガス供給設備、移送するための配管、消費後に排出される未反応毒性ガスを処理する除害処理装置など、ガス供給制御システム全般の設計や製作、現地配管の施工管理を行っています。技術部門では、これらシステムの品質向上に向けて2002年7月に品質マネジメントシステム「ISO 9001」の認証を取得しました。また、マネジメントシステムの基本となるPDCAサイクルを回していくことで安全管理にも役立っています。



ガス供給設備 日常の点検

◆お客様と取り組む安全

■保安講習会の取り組み

高圧ガスに関する『公共の安全』の確保に向けた取り組みは、社内活動だけに限りません。高圧ガスをお客様へ引き渡した後に正しく取り扱われることが『公共の安全』の確保には欠かせないと考えています。巴商会では、高圧ガスの正しい知識を持って適切に使用して頂くために、お客様を訪問し取扱うガス種に応じた内容や身近な不具合事例を取り入れた「高圧ガス保安講習会」を行っており、2019年は延べ105回の機会を頂きました。お客様の声を直に聴ける講習会を通して、お客様が抱える問題を一緒に解決していくことも災害の芽を未然に摘む近道と考え、積極的に取り組んでいます。



お客様向け保安講習会



社員の一言

高圧ガスに関する安全活動は、ガスそのものが危険なものであることから社内外を問わず幅広くあります。とりわけ、高圧ガス運送中の交通事故は、一般市民を巻き込んでしまう恐れがあるため決してあってはなりません。お客様が安心してガスをお使い頂き、ガスを通して社会貢献に寄与出来るよう、これからも安全活動に努めていきます。

安全課 石川 圭吾

◆安全をキープする人材の育成

■社内技術教育・社内資格制度の取り組み

現代のようにIT（情報技術）やAI（人工知能）技術が進歩しても、高圧ガス容器の交換作業や毒性ガスの排ガス処理筒交換作業など、まだまだ人と危険源が近接する作業は多くあります。巴商会では、こうした特にリスクが高いと位置付けている交換作業に対して、実機モデルを用いた実技指導・検定を年1回行い、作業者の技能向上と保持に努めています。また、工事管理業務を担う者に対しても2006年より社内資格制度を設け、作業の適切性・安全性の確保を目的とした人材育成を行っています。



排ガス処理筒交換実技指導

社内資格制度

- 特殊材料ガス容器交換作業資格
- イオン注入装置容器交換作業資格
- 排ガス処理筒交換作業資格
- NMR等充填作業資格
- 工事立会い者資格
- 高圧ガス運送資格

■安全の意識高揚に向けて

巴商会内で起きた不具合やヒヤリハット情報は、社内イントラネット「TOMNET」を通じてバグループ全体へ素早く周知されます。また、過去に報告された不具合情報は、データベース化により社員の誰もが閲覧できるようにし、風化防止に取り組んでいます。巴商会では、こうした不具合情報は貴重な財産と考え、事例を通じて他部署で起きた同様の事象を繰り返さないことはもちろん、リスクに対する感受性を高めることや作業改善を行うなど安全意識の高揚を図っています。



工事立会い者 社内講習会

TOPIC 緊急時を想定した安全商品開発

■安全に関する商品開発について

液化毒性ガス容器からの万が一の漏洩に備え、容器を立てた状態で容易に素早く被せて拡散を防ぐ『漏洩措置カバー』を2013年6月に開発（特許第6126916号）し、巴商会で毒性ガスを運送する全車両、所有する容器置場に配備しています。

2019年9月には、アンモニアガスや塩素ガス等が容器から漏洩した際に、現地で一時的な除害処置が行える車載用ポータブル除害筒を設計・作成し、対象車両に配備しています。

自社で保管する容器はもとより、お客様へお届けするまでの運送中における不測事態の備えに対しても、『公共の安全』を確保する上で重要と考え取り組んでいます。



素早く漏洩措置カバーを装着

環境活動



1 環境活動への取り組み

◆ 環境方針

巴商会グループは、地球環境と調和した社会づくりに貢献し、より豊かな未来を創造していくことを目指すために以下を実施します。

■ 基本理念

巴商会グループは高圧ガス関連の専門商社であることを活かし、環境マネジメントシステムを構築して効果的な運用と継続的な改善を推進し、環境への汚染予防に努め安心と安全を社会に提供します。

■ 行動指針

- 1 環境に有益な商品の開拓と販売を促進し、環境負荷物質に配慮して、環境保全の推進へ継続的に貢献します。
- 2 関連法令及び関連基準の遵守に社員全員が積極的に取り組み、自ら監視して安全の確保を図ると共に誠意ある事業活動を展開します。
- 3 ガス・薬液等の設備や容器を保守管理し、不良や劣化による漏洩を監視して環境汚染及び災害を未然に防ぎます。
- 4 使用するエネルギーを監視して省資源化に取り組み、事業に必要な資材・設備機器は環境に配慮したものを利用して、温室効果ガスの削減に寄与します。



◆ 環境法令

巴商会グループは、コンプライアンスを柱とした環境マネジメントシステムを構築し、環境法令の遵守に取り組みます。

■ 主な適用法規

高圧ガス保安法	自動車NOX・PM法	浄化槽法
労働安全衛生法	電気事業法	大気汚染防止法
食品衛生法	医薬品医療機器等法	PRTR法
騒音規制法	毒物及び劇物取締法	温対法
廃棄物処理法	消防法	フロン排出抑制法
下水道法	省エネ法	
水質汚濁防止法	振動規制法	



■ 適用条例

都道府県条例：19条例31項目
市区町村条例：33条例44項目



社員の一言

当社の環境教育では、江戸時代を舞台に音声付の紙芝居のようなコンテンツを作成し、イントラネットにて社員に配信をしております。作成は少々苦勞しますが、社員が負担に感じやすい環境活動を少しでも楽しく、なじみやすく感じてもらうことに一役買っていると自負しております。 環境課 福島 史織

2 2019年度の主な環境活動結果

◆ 環境商材の拡販

高圧ガスの専門商社として、今年度も環境に有益な環境配慮型商品の販売促進に努めました。なお、グラフはEMSの活動周期の変更により、2018年より当社決算期（8月）での集計に改めました。2017年（2017年4月～2018年3月）、72期（2018年9月～2019年8月）、73期（2019年9月～2020年8月）となります。

■ 環境配慮型商品の販売額



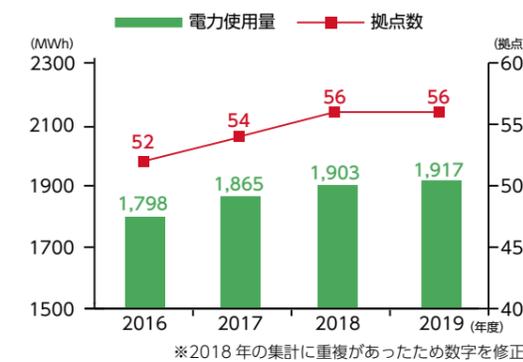
－ 拡販を目指す環境配慮型商品 －

- 【除害関連商品】 毒性ガスを無害にしてから放出する商品
- 【ガス検知器関連商品】 毒性・可燃性ガスの漏れを検知する商品
- 【防災関連商品】 高圧ガスなどの災害に備えた商品
- 【エコ商材関連商品】 製造・使用・廃棄が地球環境に優しい商品
- 【排水処理関連商品】 排水を環境基準に適合させる商品

◆ 電力使用量の削減

節電や太陽光発電・デマンドコントロール等により、使用する電力の削減に取り組みました。

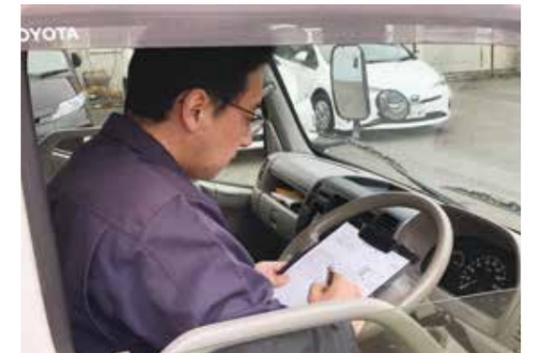
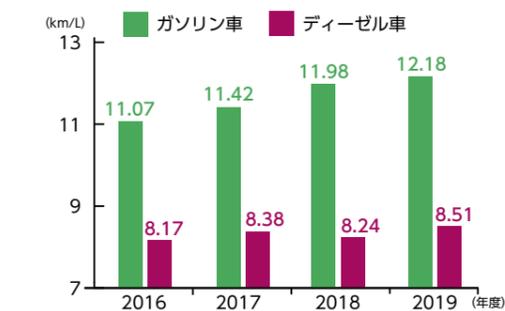
■ 電力使用量（ガス製造電力は除く）



◆ 車両の燃費向上

車両の入替やエコ運転・アイドリングストップ等により、今年度も使用する運送車両燃料の削減に取り組みました。

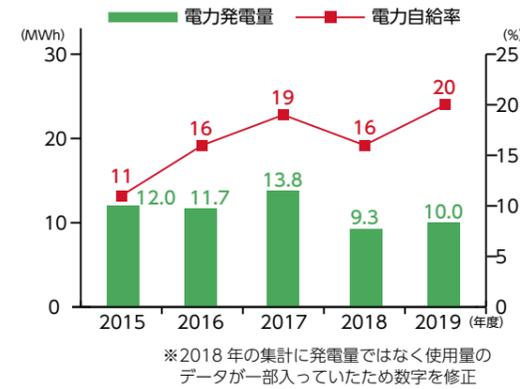
■ 車両平均燃費量



◆ 太陽光発電の運用

保有する4拠点*の太陽光発電により、使用する電力の一部を自給しました。

■ 太陽光発電量



— 当社の太陽光発電保有事業所 —

・高崎営業所 ・伊勢原営業所 ・千葉営業所

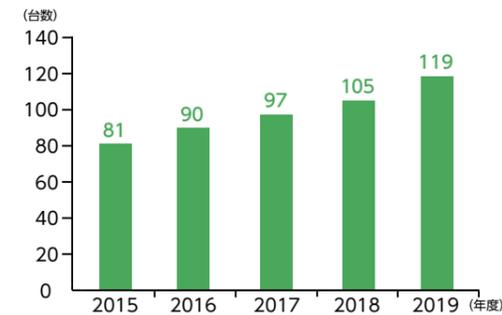


※設備改修のため2018年10月より、3拠点に変更

◆ エコカーの導入

社有車に燃料電池車を導入し、ハイブリッドカーの保有台数も増加しました。

■ ハイブリッドカーの保有台数



— 当社の主なエコカー —

トヨタMIRAI トヨタプリウス トヨタアクア
ホンダシャトル トヨタカローラアクシオ 他

◆ 環境教育の実施

環境教育を全社員に実施し、環境配慮の必要性や重要性を認識させました。

■ 環境教育の受講率



— 2019年度の環境教育 —

1. 産廃置場はゴミ捨て場ではないでありんす
2. 手順書の見直しはやっぱちゃんとやろうぜ!
3. 毒物劇物の在庫と鍵は、帳簿の管理が必要でござる!



イントラネットを利用した環境教育のスライドの例

水素エネルギー社会への取り組み

◆ Power to Gas (P2G)

巴商会は、再生可能エネルギーの利活用推進に取り組んでいます。しかし、再生可能エネルギーは発電量が不安定で使いづらい電力なのが実情です。そこで安定した部分はそのまま電力として利用し、不安定な部分は水素に変換することにより長期保管・輸送が可能なエネルギーとして利用します。今まで有効に利用できなかった不安定な余剰電力を水素化することにより、再生可能エネルギーの効率を改善することが出来ます。このような、再生可能エネルギーを一度ガスに変えて利用することを、Power to Gas (P2G)と言います。

巴商会はガスのプロとして、今まで蓄積したガスに関するノウハウを発揮し、既に再生可能エネルギーに取り込んでいる、あるいはこれから取り込もうとするお客様に、より良い提案をして参ります。



建設実績：巴商会 新砂水素ステーション

◆ 水素エネルギー社会への取り組み

巴商会では、将来期待される水素社会へ向け、2017年7月に東京都江東区にて新砂水素ステーションを開設しました。その経験を活かし、既存・新規の水素ステーション運営事業者に向けて、自社開発の省電力化を実現できるプレクーラーシステムや、工期短縮することで重機稼働時間抑制によるCO₂削減につながる地盤改良工法など、環境負荷を低減する水素ステーションの設計・施工の提案を行っています。

また、燃料電池自動車や新しい水素モビリティ（鉄道、トラック、船舶等）に搭載する水素燃料タンクの販売も手掛けています。水素燃料タンクを水素ガスの物流に転用することで運輸面でのCO₂削減、水素エネルギーマーケットの拡大に向けた事業を進めています。



建設実績：(株) 神鋼環境ソリューション殿
富士市パッケージ型水素供給装置

◆ 水素ガスの物流革命

巴商会は現在、高圧水素用カードルのType4化（軽量化）を目指して、活動しております。従来の鋼製カードル（30本組）は4tonトラックに1基しか積載できず輸送効率がいいとは言えませんでした。Type4化により2基積載可能になり、およそ2倍の効率で水素を輸送できます。輸送効率が上がるというのは、人件費などの削減だけではなく、少ない回数でより多くのガスを輸送することで、トラックの排気ガスの削減にもつながります。

※Type 4容器の詳細につきましては、当社ホームページをご参照ください。<http://www.tomoeshokai.co.jp/suiso/index.html>



FC EXPO2020 (水素・燃料電池展) 出展風景



社員の一言

日本は今、「再生可能エネルギーよりもすごい、究極のクリーンエネルギー」として水素エネルギーの導入に積極的です。水素エネルギーを活用することでCO₂排出量を削減し、環境にやさしい未来が期待されています。最近では、水素エネルギー技術を世界に発信するために、東京オリンピックの聖火台や聖火リレーのトーチ（松明）に水素燃料が使われる計画なども発表されています。そのような新エネルギーを巴商会で今まで培ってきたノウハウを生かして具現化し、未来の子供たちへ明るい未来を用意することが我々の役目だと感じております。

水素・環境推進課 魚住 周平

養殖事業への取り組み



巴商会は、再生可能エネルギーの利活用推進の一環として排熱を利用した【陸上養殖】に取り組んでおります。自社の強みであるガス溶解技術を活用し、環境に配慮した水産物の生産・流通・販売をトータルサポートしています。

1 排熱を利用した陸上養殖

工場・発電所などの排熱エネルギーを再利用した陸上養殖事業を推進し養殖施設の省エネ化と事業の収益性を高めます。また、独自の酸素溶解技術により魚介類の高効率養殖に取り組んでおります。



養殖場に設置された、高濃度酸素溶解装置



沖縄



クエの品種改良種

2 巴商会のご提案 ～三方よしの水産業～

「生産者のために」「消費者のために」「地域のために」

- ガスの力で、魚介類を「より多く、より安く、より新鮮に」お客さまにお届けします。
- ガスの力で、「安心・安全」をブランドとした魚介類の高効率養殖を確立します。
- ガス販売業者として新しい技術でガスを活用した、魚の養殖「生産・流通・販売」を行なっています。

- 2013年～ ▶ 水産養殖用酸素ファイター・酸素ガス販売を開始
- 2015～2016年 ▶ 酸素ガス溶解による高効率養殖技術の実証試験を実施（兵庫県）
- 2016～2017年 ▶ 高効率養殖技術の大規模実証試験を実施（沖縄県）
- 2018年～ ▶ クエの品種改良種*の陸上養殖試験を開始（神奈川県）
▶ 酸素・二酸化炭素ガスによる活魚輸送事業に参画
- 2019年～ ▶ クエの品種改良種*の陸上養殖試験を開始（沖縄県）
▶ 排熱を利用した陸上養殖事業を開始

*刺身や鍋料理に人気が高い高級魚「クエ」と成長が早い大型魚「タマカイ」の良いところを取り掛けた「品種改良種」です。



社員の一言

近年、魚類は安定した生産が求められ、それに伴い世界的に陸上養殖が注目されています。陸上養殖は魚の残餌、糞尿による海洋汚染を防ぐメリットがあります。さらに魚を病気から守ることもでき、安定した生産を可能にします。工場の排熱を養殖に再利用し環境にやさしく効率の良い養殖の提案を目指しています。今後有力な魚種に挑戦し提案の幅を広げていきたいと考えています。

企画営業部 水産グループ 溝呂木 悠太

在宅医療の取り組み



巴商会は、病院や公的機関と連携し、在宅医療が必要な方へ医療ガスをお届けすることにより、地域社会の福祉に貢献し、自宅で療養したいという患者さまのニーズにお応えしています。在宅療法の種類には様々なものがありますが、たとえば「在宅酸素療法（HOT）」では、慢性呼吸不全の患者さまが家庭で酸素投与を受けられることによって、QOL（生活の質）を改善することができます。住み慣れた自宅で酸素を補うことによって、自宅でご家族と過ごすこと・外出や旅行に行くこと・趣味を楽しむこと・仕事を続けることができるようになります。

今年は特に、在宅酸素療法の患者さまは肺に疾患をお持ちですので、新型コロナウイルスの感染防止には細心の注意を払って容器の配送や点検・回収などを行いました。従業員の体調管理の徹底はもちろんのこと、容器の納品前・回収後の全数アルコール消毒や、同意をいただいた患者さまには、接触を避けるため指定場所（玄関前など）に空容器を置いてもらって交換するなどの工夫をしました。また、医療機関への出入りも最小限に抑えるようにしました。

酸素濃縮装置



携帯用酸素ボンベ



液化酸素装置



その他にも、巴商会で取り扱っている在宅療養は下記のようなものがあります。

- 在宅人工呼吸療法（鼻マスク式NPPV）
- 在宅人工呼吸療法（気管切開TPPV）
- 在宅持続陽圧呼吸療法（CPAP）
- 在宅中心静脈栄養法（HPN）
- 在宅成分栄養経管栄養法（HEN）
- 在宅小児経管栄養法（HPEN）
- 在宅悪性腫瘍の鎮痛療法および化学療法
- 在宅自己注射

機器の定期メンテナンスはもちろん、緊急時の対応は365日・24時間体制で行っています。高度管理医療機器等販売業貸与業・医療機器修理業の許可証、医療関連サービスマーク振興会による在宅酸素療法における酸素濃縮装置保守点検の認定を受けています。

患者さんが多数いると言われております「睡眠時無呼吸症候群」の簡易検査とその治療にも関わっています。

睡眠時無呼吸症候群の治療器



睡眠時無呼吸症候群の検査装置



社員の一言

「すべての患者さまに笑顔と安心を」をモットーに、患者さま一人ひとりの生き方に寄り添うサービスを、地域のドクター・看護師・ヘルパー・薬剤師など職種の方々と協力し合って、患者さまの療養生活をサポートしております。

メディカルサービス部 在宅推進課 伊藤 良博

働きやすい環境づくり



健康経営の取り組み

◆ 株式会社巴商会 健康企業宣言

わたしたちは、「お客様のためになることをする」という社是の土台をなす要素として、社員のからだの健康の維持増進、心の健康の向上に取り組むことを決定し、ここに健康企業宣言をいたします。

私たちは、産業用ガスに携わるものとして、「安全」をことのほか重んじてまいりました。そして、その安全を守るために必要なものは、社員の「安全」、わけても「健康」です。心身ともに、いきいきと、笑顔で働ける職場環境を、組織全体で整えて参ります。

巴グループの皆さんも、一人ひとりが健康の維持増進、生活習慣の改善を心がけていただき、心身の健康を力の源とし、よりいっそうお客様と社会の発展に貢献して参りましょう。



◆ 健康保険組合『銀の認証』取得

健康経営の取り組みを健保組合に提出し、健康優良企業に認定されました。

～取り組んだ項目～

- ①健康診断
- ②健康診断結果の活用
- ③健康づくりのための職場環境整備
- ④食事
- ⑤運動
- ⑥禁煙
- ⑦心の健康



◆ がん対策推進企業アクション推進パートナー企業登録

社内イントラでがんに対する様々な情報を配信し、がんについて「正しく知ること」から活動を始めています。

がん検診の大切さや、飲酒・喫煙のリスクについて広く知ってもらえるよう情報発信を続けていきます。



◆ 東京商工会議所「感染症対応力向上プロジェクト」

■ 知識習得コースに取り組みました

職場における感染症リスク対策として全社でeラーニングに取り組みました。

新型コロナウイルスが蔓延する時期とも重なり、社員のお大半が受講しました。



◆ 体操を推奨しています

外を飛び回る営業職、デスクワーク中心の事務職共に適度に体をほぐすことは大切です。

朝礼時や昼休憩での体操やストレッチの普及に努めています。



社員の一言

「ご健康に！」を合言葉に、社員全員の食生活改善・運動の推進・こころの健康をお手伝いする活動をしています。各拠点の「健康づくり担当者」の皆さんからの協力も得ながら、全員が取り組める身近なことから今後も楽しく続けていきます。

健康経営事務局

新型コロナ感染防止への取り組み

新型コロナによる未曾有の感染災害に対する政府発令の「非常事態宣言」を受け、当社では様々な取り組みを迅速に実行しました。主なものをご紹介します。

◆ 緊急対応ルール整備

「感染拡大防止」と「子育て世代従業員への支援」のため、緊急対応ルールを整備しました。

- ▶ 国内・海外出張の原則禁止
- ▶ 時差出勤
- ▶ 在宅勤務
- ▶ 児童養育者向け特別休暇の付与
- ▶ 従業員に対し毎日の検温と記録、来訪者には健康状態の確認を実施

◆ Web会議システムの導入・活用

セキュリティに配慮したWeb会議システムを導入し、マニュアル整備と使用方法のオンライン教育を実施しました。

- ▶ 社内会議
- ▶ 社員研修
- ▶ オンライン面接・会社説明会の実施



◆ 新入社員への対応

新入社員ができるだけ不安を持たず安全に配属先で仕事を始められるよう、例年になく取り組みを行いました。

- ▶ 新入社員研修のコンテンツを見直し、必須項目のみを少人数ずつで実施
- ▶ 安全のため、入社式に替えて社長メッセージを作成し、巴の新人としての基本を伝えました。
- ▶ 遠方に配属になった新入社員が公共交通機関を使わなくていいように、人事課と先輩社員が協力して乗用車で赴任地まで送迎。



◆ 海外拠点へのサポート

- ▶ 緊急事態への備えとして備蓄していたマスクを、国内の社員への配布だけでなく、当時入手が非常に困難であった海外拠点にも送付。
- ▶ 海外駐在員家族の緊急帰国へのサポートとして、一時隔離ホテル並びに空港からホテルまでの送迎車を手配。

◆ 医療機関へマスク等の寄付

当社で調達できた医療物資を、医療従事者への感謝と敬意とともに、地域の医療機関へお届けしました。

- 日本赤十字社 大森赤十字病院 (右写真)
 - ▶ マスク 40箱 (2000枚)
 - ▶ 感染防止キット 30セット
 - ▶ ゴーグル 100個

そのほか、

- 医療法人社団 冠心会 大崎病院 東京ハートセンター
- 東邦大学医療センター 大森病院
- 医療法人社団 森と海 東京 東京蒲田病院へもお届けしました。



企業市民としての活動



私達のできる「身の丈に合った活動とは何か」を常に考えながら、年間計画を作成し、継続した社会貢献活動を行っています。

1 社内的な取り組み

◆ 社会貢献ワーキンググループ活動の定着化

巴商会では、地域社会やその他のコミュニティへどのように貢献すればよいのかということを検討した結果、ボランティア活動などに代表される体験型の社会貢献を第一歩の活動とすることにしました。

気軽にそしてより多くの社員が社会貢献活動に参加でき、継続的・計画的に活動の輪を広げて行くことを目的として、志のある社員を中心に「社会貢献ワーキンググループ」を2012年1月より組織しました。

現在では、ワーキンググループによる年間の企画が、社内のネットワークを通して社員へ案内されており、定期的に社会貢献活動に参加する社員が増えてきています。

今年は新型コロナウイルスの影響を鑑みて、活動規模を縮小しましたが、新たなメンバーを迎えることができました。彼等・彼女達へとバトン渡すことにより、今後は新しい視点での活動が増えることとなります。更に多くの人たちとの繋がりを持ち、共生をはかっていくことができたらと考えています。

2 私たちのボランティア活動

◆ ボランティア活動への参加状況 (2019年9月～2020年8月)

 <p>9部署/393枚</p> <p>▲書き損じはがきの寄付活動 (日本盲導犬協会仙台訓練センター)</p>	 <p>7部署/17,071個</p> <p>▲エコカップの寄付活動 (NPO法人 Reライフスタイル)</p>	 <p>15名参加</p>
 <p>24部署/1454本</p> <p>▲チャリティカレンダー市へのカレンダー寄付活動 (日本ユニセフ・各都道府県社会福祉協議会など)</p>	 <p>▲東京港野鳥公園でのごみ拾い・ツタの除去作業 (NPO法人 東京港グリーンボランティア)</p>	

社員の一言

「身の丈に合った活動」と「継続」がキーワード

社会貢献のメンバーが様々なボランティア体験をしていく中で、社員とそこそご家族が無理なく楽しく活動できるものを社内へ紹介し、一緒に活動を行っています。

新しいメンバーも増え、ボランティアを基点とした社員の交流の機会にもなっています。これからも巴グループらしい活動を続けていけたらと思っています。

社会貢献ワーキンググループ 藁谷 陽子

3 地域社会へ参加の取り組み

◆ 交通安全街頭活動

巴商会は、地域の安全のため、1971年より蒲田安全運転管理者部会の一員として、毎月2～3回、交通安全街頭活動を行っています。主な活動として、幹線道路が交差する地点等で、車による歩行者の巻き込み事故防止のために、ドライバーに注意を促したり、歩行者・自転車の通行者に交通安全に対する意識を高めるよう啓蒙活動に取り組んでいます。



◆ 「アースフレンズ東京Zを応援!」

巴商会は、大田区総合体育館をホームアリーナとして活動しているプロバスケットチーム「アースフレンズ東京Z」を協賛・応援しています。「アースフレンズ東京Z」は、地域との交流・子供たちへの指導を通して、バスケットボールの普及・選手の育成活動を行い、世界へ羽ばたく人づくり・街づくりを目指しています。

試合の応援グッズとして、巴商会の関連会社である宝興産株式会社が、応援用バルーンを作成しました。宝興産株式会社は「アースフレンズ東京Z」とパートナー企業契約を結び、ともに「アースフレンズ東京Z」を応援しています。

試合後には選手との交流会、試合以外でも、一緒に野外ボランティアを行うなど、地域への貢献活動を行っています。





本冊子に関してのご意見・ご質問がございましたら、下記宛先までお願いいたします。

株式会社 巴商会（監修：総務部 法務課）

〒144 - 8505 東京都大田区蒲田本町一丁目 2 番 5 号 ネクストサイト蒲田ビル
TEL. 03-3734-1111（代表） FAX. 03-3739-1070